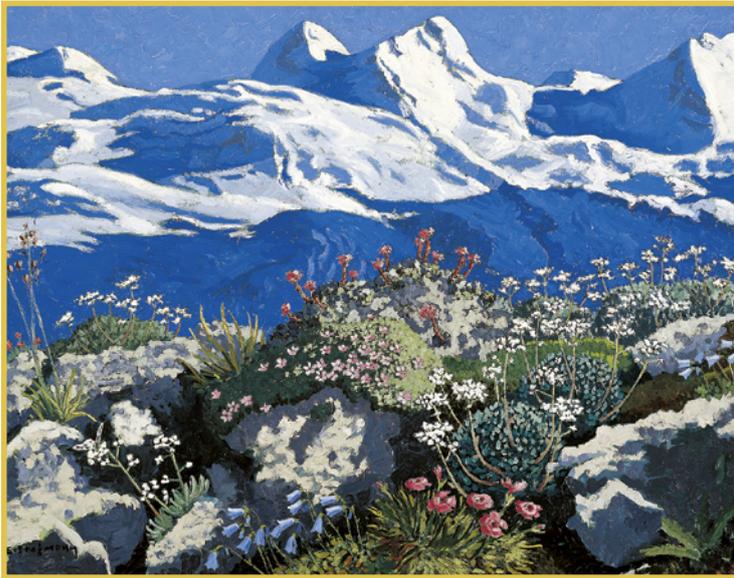


# 親切だより

<https://shinsetsu-kai.jp>

1 月号 No. 636  
2025年1月1日発行

■発行／一般社団法人 親切会 本部  
〒101-0032  
東京都千代田区岩本町2-9-6  
ゆいまーるひたち4F  
■編集兼発行人／米山貴章  
■印刷／株式会社日立ドキュメントソリューションズ



明けましておめでとうございませ  
今年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます

題名：山景 作者：アルヌルフ エーリッヒ シュテッグマン（ドイツ）



制作中の作者（口で描いた）

協会創設者・初代会長  
1912年3月生まれ。脊髄性マヒのため2歳で両手腕の自由を失いました。教師たちは、彼の芸術の才能に気づき援助しました。油彩、水彩、版画、彫刻など、すべて口に道具をくわえて行い、芸術的技術は、勉強や海外への学習旅行により完成されていきました。展覧会活動は、ドイツ、イタリア、ギリシャ、リヒテンシュタインなどで行われ、作品はミュンヘン市、シンシナティ美術館、個人のコレクション、ギャラリーなどに収蔵されています。1984年9月没。

親切だよりに寄せて  
協会の現況と感謝を込めて

「口と足で描く芸術家協会」  
代表取締役 松澤 雅美

「口と足で描く芸術家協会」は、病氣や事故等様々な事情で手の自由を失った障がい者が、口や足に絵筆をとり、絵を描くことで社会的自立をめざしたヨーロッパ発祥の団体です。1956年の設立後、ドイツ人の初代会長 A. E. シュテッグマンの友人ベルトホルト・オールメルが来日し、ヨーロッパの活動を日本で広めました。また日本では福祉という言葉さえ使われていない時代に、世界の、そして日本の障がい者が描いた絵から作製したカードや絵葉書など、数点を皆様にご購入いただいております。その小さな第一歩が現在に至っております。それから既に60余年という年月がたちました。協会は「SELF HELP NETWORK CHARITY」慈善ではなく自立」をモットーに、世界中の障がい画家が絵を描き、その絵をもとに作製したグッズの収益が、彼らの奨学金や生活費となり、絵を描き続ける機会を与えるとともに、この理念に共感くださった親切会様等、様々な企業様からのサポートによって成り立っております。社会貢献が今ほど熱心ではない時代から、親切会様にはいち早く私どもへ関心を持っていただき、四半世紀の長きにわたりご支援いただいておりますことに、この場をお借りして御礼申し上げます。

「口と足で描く芸術家協会」と親切会の関わりについて

親切会本部

親切だよりの表紙は、2001年1月号より現在まで、口と足で描く芸術家協会の作品を掲載させて頂いております。親切会第7代玉河会長が、欧州訪問の際、「世界身体障害芸術家協会」を知り、日本の代表機関と接触を持たれたのが始まりです。玉河会長が2001年1月号で、その思いを寄稿されていますので、今回、ここに一部抜粋させて頂きます。

「日本国内にも障がいにより両手が使えず、口と足で絵を描く方が大勢おられ、これらの人達が自主的精神をもって、積極的に人生を生きてゆくための支援活動を、この機関が幅広く行っているとのことでした。その折見せて頂いた数多くの作品に、心から感動し驚きもしました。これは自分だけでなく、できるだけ多くの人に見て知って頂けたら良いのではないかと思います。」



# 年頭にあたって

## 親切会の新たな動き



一般社団法人 親切会 副会長

鈴木 学

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ご家族さまお揃いで良き年を迎えられたことと存じます。新年にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻は、いまだ休戦の糸口を見いだせないまま膠着状態に陥つたままです。また、2023年10月のパレスチナの武装組織ハマスによるイスラエルのコミュニティへの侵入、これに対しイスラエルは報復としてパレスチナ自治区ガザへ激しい空爆や地上侵攻で、民間人や子どもも含め多くの犠牲者が出ていたという真に痛ましい事態が続いています。しかも、今年になり、レバノンの武装勢力ヒズボラとの戦闘、それを支援しているイランとの報復の応酬など中東情勢は悪化の一途を辿っています。東アジアにおいても、台湾の新総統就任にあ

り、中国が台湾を封鎖するような軍事演習を実施し、北朝鮮軍のウクライナ侵攻への参戦など、きな臭い状況が続いています。このような厳しい国際環境の中、10月の総選挙では、自民党・公明党の与党が過半数割れを起し、少数与党での内閣がスタートし、国内の政治情勢も不安定さを増しています。11月のアメリカ大統領選では「アメリカファースト」を掲げるトランプ氏が再び大統領に選ばれました。まず、先の読めない時代になつてしまいました。

その中で、親切会関東支部は2002年の本部の東京移転に伴い、本部と一体となって運営してきましたが、親切会の一般社団法人化をめざす中で、2017年に支部活動を活性化するために、私を含め、60、61代の日立労組本社支部執行部OBと会社側メンバーで幹事会を結成して、再スタートしました。従来からの、事業所のある、茨城地区、東京小平地区、神奈

川地区の恵まない子どもへの支援施設への寄付を継続し、2023年10月には、長年にわたって寄付を続けてきました東京善意銀行様の推薦を頂き、東京都知事より東京都功労者表彰を受賞いたしました。

日立OBが理科好き児童の育成をサポートしている日立、ひたちなか、栃木、横浜各地の理科クラブに寄付をしております。

最近では、連合東京（会長は元日立労組本社支部委員長の斉藤千秋氏）が立ち上げた子ども・若者支援プラットフォーム「HOPE」様との連携の下、日立ビルシステム様、日立システムズ様などの日立グループ各社から、災害用備蓄品を、賞味期限を十分配慮して提供を受け、子ども食堂に提供しております。また、日立製作所本社総務部と連携をして「能登半島地震復興応援フェア」にも参加するなど、現役社員と連携できる活動を模索しております。

このような活動は、皆様のご厚意とご支援・ご協力によって発展するものであります。最後に、皆様ならびにご家族のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



# HOPEを通じて見た これからの社会人 ボランティアの在り方



連合東京 会長  
斉藤 千秋

子ども・若者支援プラットフォーム（以下、HOPE）が親切会からご支援いただくようになったのは2022年3月。コロナ禍で賞味期限切れになる災害備蓄品を在宅勤務が主流になっていくに従業員に配布できず、廃棄するものもつたないとお声掛けをいただいたのが始まりであったと記憶しています。お声掛けいただいたのは日立労組の活動を通じて知り合ったOBの方々。ご縁は本当にありがたいものです。

HOPE設立は、コロナが始まった時、子どもの貧困やシングルマザー世帯の厳しい生活実態を見聞きしたことからはじめます。彼らの食を支えている子ども食堂を支援するため、連合東京の推薦等をして自治体議員とつながる21の子ども食堂に、加盟組合から頂いたカンパ金を寄付しました。支援を通じてわかったことは、子どもの貧困を断ち切っていくためには、子どもたちに宿題をするなど日々の学習の習慣をつけ、なりたい自分の夢を持つてもらう活動が必要だということです。親切会からの災害備蓄品の寄付は、そんなタイミングの早々に頂いた話でした。実に日立らしく、頂いた備蓄品の使用方法、反社とのつながりがないかなど倫理規定にも照らされた契約書を交わしてスタートしました。日立グループからの寄付は今や子ども食堂支援の柱になっています。

HOPEでは物資の支援だけでなく、子ども食堂の学習支援ボランティアの対応も行って、研修を受けたボランティアが子ども食堂の学習支援にあたり、子ども食堂の社会人ボランティアに勉強を教わり高校進学したことや、都内の進学校の高校生ボランティアに勉強をみてもらっている子どもが、いつかお姉さんのような高校生になりたいと言っているという報告を聞くと、少なからずHOPEの最初の目的達成に近づいていることを実感しています。日立グループの皆さんには災害備蓄品の支援にとどまらず、年休を使った学習支援のボランティアなどにも参加してほしいと思っています。その機会づくりを模索したいと思っています。

結びに、技術力で社会的な課題を解決している日立。社会の解決すべき課題を知るアンテナを高く持ち、現役が親切会の支援活動に参画するようになると、日立と親切会が社会を変える5馬力モーターになると思います。これからもご支援よろしくお願ひします。

### プロフィール

- 1991年 ㈱日立製作所入社
- 1998年 日立労組本社支部 執行委員
- 2000年 日立労組本社支部 中央執行委員
- 2004年 電機連合 専門部長
- 2006年 電機連合 中央執行委員
- 2012年 日立労組本社支部 中央執行委員
- 2014年 日立労組本社支部 執行委員長
- 2019年 連合東京 事務局長
- (2021年11月 HOPE 代表幹事就任)
- 2023年 連合東京 会長 現在に至る

# 『災害備蓄品の子ども食堂への提供の実績』

HOPE 専務理事 真島 明美

子ども・若者支援プラットフォーム（愛称HOPE・ほっぺ）は、一般社団法人親切会の要請を受け、HOPEと連携する子ども食堂に対し、災害備蓄品の提供を行っています。

災害備蓄品の提供は2022年3月から実施され、日立グループ企業からアルファ化米（わかめ・五目・山菜・ドライカレー・おこわ）約3,000食、ビスコや缶入りパン約2,000食のほか、カロリーメイトやえいようかんなど多くの災害備蓄品を提供していただきました。

これまで、10か所の子ども食堂やフードバンクなどにお届けしています。

運営する子ども食堂はまちまちです。折しもコロナ禍と重なったことで、子ども食堂が運営できなくなり、閉鎖してしまったり、フードパントリーに切り替えたところもあります。

また、物価高が続き、お米の高騰もあり、アルファ化米はストックできることや種類が豊富なこと、ビスコは子どものおやつとして大変喜ばれています。

災害備蓄品の提供は、食品ロス削減および生活困窮者支援等の観点から有効活用するため、これからは需要があると考えます。

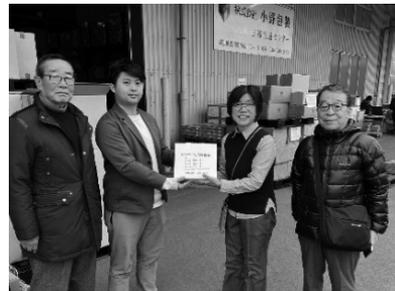
一方、HOPEとしても災害備蓄品の提供を通じて、定期的な子ども食堂への訪問機会があり状況把握もできます。そして、新たな地域のNPO団体の発掘にもつながっています。これからも支援提供の取り組みを行ってまいります。



江東区 子ども食堂ヤミーさんのフードパントリー



フードバンクかながわの藤田理事長、市川さんへ災害備蓄品を渡すHOPE 杉山事務局長



一般社団法人親切会 関東支部、株式会社 日立システムズの皆様とHOPEの真島専務理事

# フードバンクかながわへの災害備蓄食料品の寄付を実施

株式会社 日立システムズ

2024年2月5日（月）、日立システムズは、一般社団法人親切会関東支部様および子ども・若者支援プラットフォーム（連合東京）様経由で、公益社団法人フードバンクかながわに災害備蓄食料品の寄付を実施しました。

本活動は、入れ替え予定の災害備蓄食料品を食品ロス削減および生活困窮者支援等の観点から有効活用するため実施したもので、日立システムズとしては初の試みとなります。

今回は、五目ご飯やわかめご飯、サブイバルパン、非常飲料水などの災害備蓄食料品を提供しました。これらは神奈川県内の子ども食堂などに配布され、有効活用される予定です。

日立システムズでは、今後も災害に備え、各種対策活動を行っていくと同時に、今回のような取り組み・活動についても推進してまいります。



（左から）一般社団法人親切会関東支部様・子ども・若者支援プラットフォーム（連合東京）様・当社担当

# 子ども食堂支援の御礼

親切会 関東支部

親切会関東支部では、2022年以降、「子ども・若者支援プラットフォームHOPE」様との連携のもと、日立グループ各社様の災害用備蓄品を子ども食堂へ提供しています。

これまで、日立ビルシステム様、日立プラントコンストラクション様、日立ドキュメントソリューションズ様、日立製作所様、日立システムズ様、日立マネジメントパートナーズ様よりご支援を頂いています。フードロス、環境エコの観点からも資源の有効利用に努めています。今後も各社様のご支援をよろしくお願い致します。

# トピックス TOPICS



## 社友総会での親切会のPR （親切会本部）

10月4日（金）に行われました本年度の日立社友総会に、総務部様のご配慮により親切会のブースを設置頂きました。当日は、親切会より、加子会長、鈴木學副会長の他、関東支部幹事のメンバーが、揃いのビブスを着用し、親切会の日頃の活動をPRすると共に、能登半島復興支援の募金活動を行いました。

なお、「社友だより12月号」には、加子会長の次の文面（抜粋）を掲載しております。

『企業にSDG'sの実践が期待される昨今、今後も引き続き、親切会は日立グループと共に歩んでいきたいと考えております。』

全文は、下記の親切会HPに掲載しています。

## 能登半島地震

### 復興応援物産展 株式会社日立製作所 人財統括本部 総務グループ

日立には「優れた自主技術と製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念があり、事業活動を通じて社会課題や環境問題等の解決に貢献しています。

一方、社内においても、従業員が参画する様々な寄付やボランティア等の社会貢献活動が各所で実施されています。

2024年1月に発生した能登半島地震は石川県、能登地方に甚大な被害をもたらしましたが、少しでも被災した地域の復興の手助けになることを願い、社内各所で復興応援物産展を開催しています。

毎回多くの従業員が来場し、飲食物や輪島塗等の特産品を購入しています。また一部の会場では親切会の協力も頂き募金活動を行いました。

被災地の一日も早い復興を祈り、今後も活動を続けてまいります。



## 能登半島地震

### 復興フェアに参加 （親切会 関東支部）

親切会関東支部は、9月5日（木）、10月16日（水）に、日立製作所本社様ならびに日立リアルエステートパートナーズ様が協賛で開催した能登半島地震復興フェアに、それぞれ関東支部の幹事5名が参加し、募金活動ならびに親切会のPRを行いました。

当日は、支援活動に関心のある社員が仕事の合間に思い思いの商品を購入し、親切会についても関心を持って頂きました。当日および社友総会で募金頂いた総額31,883円は、石川県の復興事務局へ寄付させて頂きました。



親切会は、日立と共に  
社会貢献活動を行っています



日本人は以前から、心のあたたかい親切な国民であり、物質的には豊かではなくても住みよい国でした。いま、物は豊かになった反面、人情は薄くなり、家庭でも職場でも対立や衝突が多くなり、住みよい国とはいえなくなってしまいました。今こそこの点を大いに反省し、もとのように住みよい国にしよう、というのが私達「親切会」の目標です。

<b>親切会本部・関東支部</b> 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-9-6 ゆいまーるひたち4F 電話070-3603-2172 振替口座00100-1-77291 三菱UFJ銀行神田支店 普通口座番号0530726	<b>北海道支部</b> 〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目1番地 札幌三井JPビルディング 株式会社製作所北海道支社内 電話011-221-3444 中央三井信託銀行札幌支店 普通口座番号8721350	<b>東北支部</b> 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-25 (JRE東二番丁スクエア) 株式会社製作所東北支社内 電話022-223-0121 振替口座02270-4-144523 七十七銀行本店営業部 普通口座番号7838603	<b>北陸支部</b> 〒930-0858 富山市牛島町18-7 (アーバンプレイス) 株式会社製作所北陸支社内 電話076-433-8511 振替口座00710-9-877 北陸銀行電気ビル支店 普通口座番号6029238	<b>中部支部</b> 〒460-8435 名古屋市中区栄3-17-12 (大津通電気ビル) 株式会社製作所中部支社内 電話052-259-1133 振替口座00800-8-137771 三菱UFJ銀行栄町支店 普通口座番号0265752	<b>関西支部</b> 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-2-1 新ダイビル9階 電話・FAX06-6341-6770 振替口座01140-2-41408 三菱UFJ銀行大阪営業部 普通口座番号3617060	<b>中国支部</b> 〒730-0036 広島市中区袋町5-25 (広島袋町ビル) 株式会社製作所中国支社内 電話082-541-4111 山口銀行広島支店 普通口座番号6267593	<b>四国支部</b> 〒760-0027 高松市紺屋町9-6 (高松大同生命ビル4階) 株式会社製作所四国支社内 電話087-802-4340 百十四銀行田町支店 普通口座番号0314049	<b>九州支部</b> 〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-1 (日立九州ビル4階) 株式会社製作所九州支社内 電話092-844-7501 振替口座01700-3-9484 西日本シティ銀行アライメントももち支店 普通口座番号3024435
---	---	---	--	---	--	--	---	--